
追悼抄

野村俊郎氏は、永年にわたり千葉県高等学校体育連盟バスケットボール専門部の役員を務め、本県高校バスケットボール界の健全な発展に多大なるご尽力をいただきました。

平成9年度より専門部委員長として指導的立場に立たれた氏は、人と組織の調和を大切にしながら、2005年開催の「千葉きらめき総体 2005」において卓越したリーダーシップを発揮し、同大会を大成功に導かれました。

その後は千葉県バスケットボール協会の理事長として、2010年開催の「ゆめ半島千葉国体」に向け、各関係機関との連携を図りながら、競技力の向上と組織の充実に尽力されました。2011年には副会長に就任し、とりわけ法人格取得に向けた組織改革を積極的に推し進め、本協会を持続可能な組織へと導く礎を築かれました。

また、指導者・教育者としても青少年の育成に熱意をもって取り組まれ、競技力向上にとどまらず、バスケットボールを通じて多くの人材育成に貢献されました。2008年度には「松戸節三杯」、2010年度には千葉県体育協会「功労章」、さらに2020年度には「生涯スポーツ功労者表彰」を受章するなど、その功績は広く認められております。

昭和24年11月8日生まれ。行年75歳。

卓越した指導力と類い希な人心掌握術によって築かれたその軌跡は、これからも千葉県バスケットボール界に深く息づいてまいります。

ここに、野村俊郎氏の多大なるご功績に敬意と感謝を表すとともに、その情熱と献身を偲び、謹んで哀悼の意を捧げます。

